

## 令和8年度第1回新居浜市地域包括支援センター運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和8年5月22日（金）13：15～14：15
- 2 開催場所 新居浜市役所5階大会議室
- 3 出席者  
委員： 石橋委員、加藤（正隆）委員、鴻池委員、佐々木委員、白石（亘）委員、  
浜本委員、宮内委員、山本委員、渡邊委員、加藤（顕子）委員（10名）  
事務局： 福祉部長：久枝  
介護福祉課：石川  
地域包括支援センター：所長・宇野、副所長・岡田、係長・伊藤、  
係長・近藤、主任・黒川、主任・三浦、保健師・菊屋、健康長寿コーディネーター・辰巳
- 4 会議内容
  1. 令和8年度第1回新居浜市地域包括支援センター運営協議会
    - (1) 令和8年度実施体制について
    - (2) 令和8年度事業の詳細について
    - (3) 令和8年度重点事業について
    - (4) 令和7年度認知症初期集中支援チーム検討委員会について
- 5 傍聴者 0人
- 6 議事録

事務局	<p>定刻となりましたので、ただいまから令和8年度第1回新居浜市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただきお礼申し上げます。</p> <p>まず、本日の出席会議の出席状況ですが、委員14名に対し、出席委員10名で、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条第2項の会議の成立要件であります、過半数以上の出席を満たしておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、早速議事に移ります。</p> <p>議事の進行は、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条第1項の規定により、加藤会長にお願いいたします。</p> <p>それでは加藤会長よろしくお願いいたします。</p>
-----	--

会 長	<p>それでは進行させていただきます。</p> <p>本日の議題はお手元の会次第の通り、協議題（１）令和８年度実施体制について、（２）令和８年度事業の詳細について、（３）令和８年度重点事業について、（４）令和７年度認知症初期集中支援チーム検討委員会について、（５）その他となっています。</p> <p>議事が円滑に進行できますよう、委員の皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、協議題（１）について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《協議題（１）について説明》</p>
会 長	<p>ただいま事務局より、令和８年度実施体制についてご説明いただきましたが、委員の皆様からご意見ご質問等はございますでしょうか。</p>
委 員	<p>保健師が不足しているとのことですが、当院もそうなのですが、看護師系統の人の採用といったところはどこもすごく厳しい現状なのだろうと思うのですが、その不足分をフォローする体制は何かお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>なかなか厳しい状況ではありますが、他の専門職であったりだとか、或いは係を跨いでの協力体制で、どうにか足りない部分を補うような形で、何とか事業を行っておりますので、厳しい状況には変わらないのですがどうか事業には影響がない範囲でできていると思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>協力体制と申しますと、例えば保健センターの保健師さんに業務を一部お手伝いお願いするとかそういう形になるでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。新居浜市におきましては、組織横断的な健康づくり推進本部がございまして、地域包括支援センターのみでなく、他の部署、例えば介護福祉課であるとか、保健センターであるとか、今年度から健康推進課ということになりますけれども、あとは国保課とか、そういう関係のある部署と協力体制で事業を進めております。</p>
会 長	<p>他に、何かございますか。</p>
委 員	<p>今の件、教育機関にいたこともありますが、県内で、県立、それから愛媛大学二つの私立でかなりの看護職を育成しているんですけども。</p>

<p>会 長</p>	<p>どうしても行政の試験って年に1回か2回しかやらないってことで、公募とそれからその時に併願している人たちが新しく先に出た採用先に就業してしまうというふうなこともあるので、もう何年も慢性的に足りない、大変だろうと。</p> <p>現任の方たちも大変だと思いますので、どうしたら受けてくれるのかっていうこととか、それから、若い方も入っておられるので、母校との連携とかそういうこともしながら、ぜひ充足していただいて、質の良いケアができていくようなことをしていただけたらと。</p> <p>大学側にも責任はあるのですが、今年度は60数パーセントが県内に就職をしているという実態でもありますし、看護協会でも、いろんな形で教育機関のPRとかそういうことをしておりますので、活用していただけたらありがたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>どうもありがとうございます。</p> <p>今のご意見を参考にさせていただいて、行政の方でもぜひ前向きな努力をお願いできたらと思います。</p> <p>保健師さん、少ないようですけども多職種連携のもと、地域の高齢者を支えていただいていることを、大変心強く感じておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>では続きまして協議題（2）について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>《協議題（2）について説明》</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局より、令和8年度事業の詳細についてご説明いただきましたが、委員の皆様からご意見ご質問等ございますでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>質問というか意見をちょっと述べさせてもらいますが、地域包括支援センターを含む新居浜市の取り組みそのものですがけれども、成年後見制度の利用促進というところですね、新居浜市は愛媛県内20市町村のうちで、非常に遅れております。</p> <p>それは何が遅れているかって言ったら、この利用促進の事業に関して、他の市町では、成年後見人の受任者調整会議とか、対象者にとってどういう職種が一番後見になるのがふさわしいかという協議をして、申し立てに至るといような、手続きを踏む会議なんていうのが開催されているようなんですが、新居浜市に限ってはなかなかそこまで至っていない。</p>

	<p>さらに言えば、市民後見人の養成というふうなものも、県がいろんなところで取り組みをされている市町がある中で新居浜市はまだそこまで至っていないということですね、新居浜市は、他の近隣の市町に比べると人口も多いんですけども、その辺りがちょっと腰が重いような感じがしています。今日の明日にできるものでもないし、また予算が伴うものなので、来年或いは再来年、時間がかかるかもしれませんが、喫緊の課題の一つとして、取り組んでいただきたいなというふうなことをちょっと感じたので、この場を借りてちょっとお話をさせていただきました。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。 近年大変大きな問題になっているってことですのでこの辺は事務局の方からいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>成年後見の支援センターという形で地域包括支援センター、あと介護福祉課、あと地域福祉課、或いは社会福祉協議会の方もこの業務に当たっておりますので、また連携をとって、先ほどご意見いただいた点についても、早い段階で行えるような形で進めて参りたいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>つい先日も新居浜市医師会が主催して新居浜認知症ネットワークの講演会を開いたんですけどその時のテーマがまさにこのテーマで、やっぱりお金を守るといのがすごい大きな視点になってきておりますので、特に最近、AIを使って余計複雑化した被害に高齢者の方が合うようなことも報告されておりますので、やはり先手を打って、体制を整えていただくことが大事かなと思いますので、貴重なご意見いただきましたので、よろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>ちょうど2年くらい前から厚労省、それから昨年12月には愛媛県の方でも認知症予防の一つのフレイル対策として、聞こえの問題が出てきておったと思います。 市の包括からもかなり熱心に聴講というか研修にこられていましたが、この令和8年度の研修の中で、そういった新しい動きに対して何かアイデアのある事業が導入されたかどうか、或いはしたいと思ってるかとかその辺りのところいかがでしょう。認知症の予防の意味でも、聴覚障害と思っている、或いは聴覚が、うまくいかないために社会生活が狭くなって、認知症に至っているのが非常に大きな問題として取り上げられているわけですけども、名称としての事業は同じであっても、その中にどんなふうアイデアを入れ</p>

	<p>るか。愛媛県全体を見ておりますと、窓口に補助力聴覚をサポートする機械を置くとか、補聴器を買う時お金を出すとか、そういうのは、聞かれるんですが、なかなか健康教育としてとか、或いは、予防のための体制づくりとかそこはこれからという感じがありましたけれども、一歩前進されるとしたら、この講座等の中でどんなふうに取り入れるか。</p> <p>或いは健診の中に、医療との連携で聴覚障害を取り込んでいくか、そういったところも文献的な紹介などもありましたし、社会教育というか地域の中での教育のスライド等の紹介もありましたので、何か導入できるといいなと思ってちょっと伺いたく思いました。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>昨年度、包括からも聞こえの研修などに参加させていただいて、聞こえにくさってというのがフレイルの入口になるということで、PPK体操をしている拠点119ヶ所で、年2回の介護予防講座を事業所に委託して実施しているんですが、テーマを今年度は「聞こえ」にさせていただいております。</p> <p>また市内18ヶ所の公民館でフレイル講座を実施するのですが、その中でも聞こえの部分を講座の中に組み込ませていただきまして、そこから認知症のリスクにもなるということで市民の方へも今年度からは、広く啓発していく予定になっております。</p>
委員	<p>示していただくと、新しい取り組みが包括の中で進んでるんだなということがよくわかって、参加している我も他に示すといえますか、先駆的にやってみるよっていうふうなことも、ご紹介する機会もできるかと思います。</p> <p>非常に熱心に研修に参加されていたと思いますのでそういったことがこの中に少しずつ出てくると、新居浜市さんらしい活動が、進んでるんだなということがわかると思ひまして、認知症になってからの対策だけではなく、フレイル予防の大きな柱の一つになるくらいに頑張れるとありがたいなというふうに思いますので、発言させていただきました。</p>
会長	<p>大変貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今のご意見をぜひ取り入れていただいて、やはりこの事業一覧の中に、ぜひ文言として取り入れていただけたらと思いますのでよろしくお願ひします。</p> <p>他に委員の皆様からご意見いかがでしょうか。</p> <p>それでは続きまして協議題(3)につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>

事務局	<p>《協議題（３）について説明》</p>
会 長	<p>事務局から重点事業についての説明をいただきましたが、委員の皆様からご意見、ご質問等ございますでしょうか。</p>
委 員	<p>二つのスライドを見せていただいて今までの会議よりも内容がよくわかって、私たちもわくわくいたしました。ありがとうございました。</p> <p>先の分の緩和ケア推進モデル事業の中で、組織図というよりも新居浜市が導入期からどういうふうに動いているかっていう図があったかと思うんですけども、最初はこの活動するかしないかに悩んだ時期があり、そして中橋先生等の助言を受けながらスタートをした時期、そして今、主体的にいろんな事業をされているかと思うんですけども、その中で、包括支援センターは事務局ですけども、県内の圏域別の取り組みの中に、医師会の中にこういった事業の担当を置いて、コーディネーターを雇用しているようなところもあります。新居浜市さんは今度３名を育成雇用される予定というふうなことが内容の中に入ったんですけどもやはり組織のどこにいてどういう方と連携をとりながら、或いはネットワークの核は、どこが担うのかっていうふうなことによって、ケアマネさんとか、それから訪問看護師さんとかいろいろな方々が相談する連絡先っていうんですかね、繋がりっていうふうなことが、どうなるかなっていうのがちょっと見えにくいんですけど、主治医、病院連携室、病院診療所医師っていう、この辺りに医師会組織としての、この取り組みへの何らかの拠点があったり、それからコーディネーターさんは、ケアマネと訪問看護師はあるんだけど、来年度からはどこに所属してどう動こうと構想を練っておられるのか、おそらく地域包括支援センターに置くわけではないですよ。</p> <p>その時に、新居浜市さんのいろんな関係者がわかるようなネットワーク図みたいなものができるといいなと思って、これはこれからなんですけれども、他の圏域あたりでの動きなども見ておきますと、緩和ケアコーディネーターさんの活動すごく住民さんにとっても関係職種さんにとっても期待され、役割を果たしておられるので、またそのあたりをぜひ導入していただけたらと。こんなふうに思いました。頑張ってください。</p>
会 長	<p>医師会に今は置く予定はないんですけども、事務局から説明ありますか。</p>
事務局	<p>医師会には置く予定はないんですが、在宅緩和ケアコーディネーターの専門の研修会に参加して下さっている方たちの中から、お声掛けをさせてもら</p>

<p>委員</p>	<p>って、承諾をいただいた方をコーディネーターとして配置をさせていただくかなとは思っております。</p> <p>新居浜市は4圏域あるんですけども、そこにコーディネーターを配置することができるのが一番理想だと考えております。</p> <p>いろいろな関係機関と信頼関係を持って動けるような形にできるかっていうその辺のところ、これから何となく置いたけど、所属によってはとか、立ち位置によっては期待したほど動けない場合もあるので、その辺のところは、今の関係者の方の集まりの中でも十分に話し合いをした上で、有用な活動ができるように、ぜひ医師会長さんもおられることですので、助言支援を得ながらコーディネーターさんが自信を持って皆さんと連携できるように、頑張っていたらと思いました。</p> <p>名乗ったところで役立たないままで終わってしまうっていうことがあると困りますので。その辺りを懸念いたしました。</p> <p>頑張ってください。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>このネットワークの中でも、すでに手あげを考えてくださってる方もいらっしゃるようで。</p> <p>多職種連携でやっていくネットワークですけども、やはり相互に協力し合いながら、自信を持ってやっていただけるような組織づくりを考えていきたいと思っておりますので、またそういうのができたら、ホームページで出せればと思いますので、ぜひ見守っていただいて、何かありましたら、ご助言をいただけたらと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>それでは協議題（4）について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>《協議題（4）について説明》</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいまのご説明につきまして委員の皆様からご質問ご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>初歩的な質問になりますが、この認知症初期集中支援チームというものは、そもそも包括支援センターに設置しなければいけない、必須のものでしょうか。というのは、何となく、こういうことって日常的にパッパとやっていか</p>

	<p>ないといけないような気がして、これが年に数回と報告があったんだけど、こんなんじゃないと思うんですよ本当はね。</p> <p>だから、これぐらいの回数だったら、包括支援センターがやってますとか何とかっていうふうなことを言うほどのものでもないような気もして、日常的に多分、今日もどこかでこんなふうなことをやってるんじゃないかなあと思って聞いてみました。</p>
事務局	<p>一応設置はしないといけないことになっております。</p> <p>新居浜市の場合、認知症の専門の医療機関ですとか、そういった専門の先生がたくさんいらっしゃるということもあったり、あと、大きな病院もございますので、日常の相談業務等の中で動いてしまって、解決であったり、認知症の方の支援になるべく早く繋がるような形で支援ができている結果、この認知症初期集中支援チームの方での件数が昨年、一昨年ともにゼロだったという。</p> <p>決してやってなくてゼロということではなくて、逆に早い対応ができているがゆえに、この認知症初期集中支援チームの方での件数が上がってきづらいという部分もあったりして各種関係医療機関の先生方のご協力はお礼すべきところであるんですけども。</p> <p>先ほど申し上げた通り、1件検討中のケースもあるんですが、どうしても支援の中で、医療機関の受診に繋がらない、繋がりがづらい、繋がる支援ができない場合なんかはこちらの認知症初期集中支援チームの方を利用させてもらって、なるべく早い移行支援に繋がるようには努めていきたいとは考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>小さな芽のうちに摘んでいただいているということで、こういう大きなところまでまだ上がっていないというところで、非常にありがたいと思います。大変だと思いますが、ぜひよろしく願います。</p> <p>また今回、この初期支援チームには認知症の専門医の先生が、新居浜市の場合なったださっていらっしゃるんですね。</p> <p>ですから大きな問題があったときは、その専門医の先生方がきちんと稼働してくださいますので、その辺もご心配ないようにしていただけたらと思います。</p> <p>他に何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>新居浜市さんの場合は、個別の地域の方々に、精神医療機関も多いし、大丈</p>

夫ということで、それはそれなんです。県内全域を見ていると、やはりまだそうかどうかとか、どのレベルかとか、MCIなのかとか、わかりづらいときに、誰にどう相談したらいいかという体制がいかにかに作られているかによって、その初期集中に乗せる、或いは受診、或いは専門医に直接というふうな振り分けができるので、その前の段階の活動をされている保健師さんとかケアマネさんとかヘルパーさんとかそういった方々とどう連携してこの初期中集中チームで、ディスカッションした方が早く見つかっていい仕事ができるというような人を1人でも2人でも掘り起こしていく必要はあると思っています。

パーフェクトはないので、そしてご家族はみんな悩んでいて、これぐらいだったら我慢しとこうとか、自分たちが見といたらいいからとかいろんな思いで悶々としているので、保健センターとかいろんなところの健康教育とかそういったところと連動することによって、専門の方々への門戸が開けていくというふうなこともあろうかと思えますから、他の活動とつないでいくことによって、初期中集中チームの対象が広がっていくんじゃないかなあって、県内のいろんなところのお話を聞いているとそういったことも思ったりいたします。

暴力があるとかいろんなトラブルがあるとかいう時になって初めて家族が困るのではなく、早く見つける。

その一つが聴覚の問題であったり、閉じこもりであったり、いろんなことだろうと思えますので、またさらに前進ということで、これも随分前から件数少ないですね。

メンバーの先生方が各医療機関から出ておられるということもあって直接病院行った方が早いというのは確かにそうかなという気はするんですけど、漏れている人は必ずいるということ、私自身はあの地域を歩いていて思いますので、またそのあたりでの掘り起こし方とか、見つけたときにつないでいただける、たくさんの仲間をエリア内に増やすということも必要かなと思います。

ヘルパーさんたちも随分ね、いろんな事例で困ったり、ケアマネさんも、ぶつかる場合っていうのはあると思うんですね。

だから病院の敷居を跨ぐ前の悩みとかいろんなことも含めて、つないでいけたらいいなど。

これは新居浜市さんは今のところ大丈夫。これからに向けてまたぜひ、と思います。

これからどんどん増えていくと言われていて、ちょっと減り始めているんですけどすけれども、推定数は非常に多いので、明日は我が身と私も思いますけれど

	も、頑張っていたかと助かります。
会 長	ありがとうございます。 他に何かございますでしょうか。 それでは最後に協議題(5)その他について事務局より説明をお願いいたします。
事務局	《協議題(5)について説明》
会 長	予定いたしておりました議事は終了いたしました。全体を通して何かございますでしょうか。 特にないようですのでこれをもちまして本日の会議を終了いたします。 本日はお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございました。